

## 南小学校学区見直しに係るアンケート結果について

## 1. 趣旨

南小学校（日進中学校）の学区見直し検討するに当たり、学区見直しが想定される地域にお住いの保護者からご意見を伺うもの。

## 2. 概要

調査期間 令和3年11月16日から令和3年12月5日まで

調査対象 学区見直しを検討する地域

（東山四～七丁目、栄三丁目、藤枝町平子の一部、藤枝町向イ田の一部）

検討によっては学区見直しの対象となる可能性がある地域

（東山一～三丁目、折戸町寺脇の一部、折戸町出屋敷）

	対象人数	回答人数	回答率
見直し検討地区	246人	146人	59.3%
その他地域	144人	77人	53.5%
合計	390人	223人	57.2%

## 3. 回答結果について

(1) 質問1 お住まいの地域 .....	2
(2) 質問2 お子さんの現在の学年（年齢）※原則、長子の年齢 .....	2
(3) 質問3に対する回答の分類 .....	3
(4) 質問4に対する回答の分類 .....	3
(5) 地域別で見た状況 .....	4
(6) 年齢別で見た状況 .....	6

(1) 質問1 お住まいの地域

アンケートの回答をしていただいた方のお住まい内訳は次のとおりです。

なお、東山四丁目から七丁目、栄三丁目を今回の学区見直し検討する地域としています。

地域	回答数
折戸町寺脇	4
折戸町出屋敷	2
東山一丁目	28
東山二丁目	24
東山三丁目	19
東山四丁目	8
東山五丁目	22
東山六丁目	66
東山七丁目	24
栄三丁目	26
総計	223

(2) 質問2 お子さんの現在の学年(年齢) ※原則、長子の年齢

現年齢での回答のため、令和6年度小学校入学するのは現在年少(3歳)の学年となります。

年齢	回答数
0歳	8
1歳	17
2歳	14
年少	15
年中	25
年長	15
小学校1年生	23
小学校2年生	23
小学校3年生	25
小学校4年生	18
小学校5年生	21
小学校6年生	19
総計	223

### (3) 質問3に対する回答の分類

質問3は学区見直しに関して、対象地区やその境界について自由記述でご意見を伺いました。いただいた記述内容から次の区分にて回答を事務局で分類しています。

対象地域への意見なしの方が半数以上ではありますが、ご意見いただいた方からは様々な意見をいただいております。

区分	回答数
1 対象地域への意見なし	122
2 賛成または問題なし	31
3 反対	12
4 一部賛成または一部反対	34
5 意見あり	19
6 その他（質問4にて）	5
総計	223

### (4) 質問4に対する回答の分類

質問4は学区見直しに際して懸念されること、心配なことについて自由記述でご意見を伺いました。いただいた記述内容から次の区分にて回答を事務局で分類しています。

途中で学校が変わることや、新しい学校での人間関係の構築等、環境の変化に対する不安の声が多数挙がっています。

区分	回答数
1 途中で学校が変わること	48
2 高学年・最終学年で学校が変わること（小5・6、中3）	34
3 経過措置を設けてほしい	32
4 令和6年度時点の新入学者から順に変更としてほしい（在学児童、生徒は旧学区のまま）	17
5 令和6年度2年生は前倒しで令和5年度入学時から実施してほしい	4
6 友達と別れ、新しい学校での人間関係の構築への不安、受け入れ側の子どもへの指導	57
7 兄弟姉妹で別々の学校に通学すること	27
8 学校指定品の買い替えの負担	17
9 児童クラブ、放課後子ども教室の変更	9
10 小学校の距離がかえって遠くなる	23
11 中学校の距離がかえって遠くなる	7
12 通学路の安全性	31
13 地域・家庭への説明	10
14 子ども会への影響	4
15 自治会への影響	5
16 その他	71
総回答数（複数回答可とするため、各区分の回答数の合計値とは一致しない）	188

### (5) 地域別で見た状況

① 質問3を対象地域とその他の地域毎に集計した結果は次のとおりです。

対象地域の方は、比較的肯定的な意見が見られ、その他地域の方は、賛成できる面と賛成できない面の両面の考えを持つ方が多い傾向が見られます。

<回答数>

区分	対象地域	その他地域
1 対象地域への意見なし	84	38
2 賛成または問題なし	27	4
3 反対	5	7
4 一部賛成または一部反対	16	18
5 意見あり	10	9
6 その他（質問4にて）	4	1
総計	146	77

<回答有の合計件数に対する各回答の割合（「1 対象地域への意見なし」は除く）>

区分	対象地域	その他地域
2 賛成または問題なし	43.5%	10.3%
3 反対	8.1%	17.9%
4 一部賛成または一部反対	25.8%	46.2%
5 意見あり	16.1%	23.1%
6 その他（質問4にて）	6.5%	2.6%
回答有の合計件数【参考】	62	39

<一部賛成意見の主なもの>

- ・通学距離や通学路の安全性の面からよい。
- ・栄三丁目は一丁目・二丁目同様梨の木小学校がよい。

<一部反対意見の主なもの>

- ・東山区の学区を分けないように、東山区全体を変更対象とした方がよい。
- ・東山四丁目の一部の地域について、自治会や子ども会のまとまりが考慮されていない。
- ・交通量の多い道路の横断を避けるため、県道瀬戸大府東海線以东の地区を対象とした方がよい。
- ・現在より通学距離が極端に遠くなるような学区変更はしないでほしい。

② 質問4を対象地域とその他の地域毎に集計した結果は次のとおりです。

対象地域の方は、新しい学校での人間関係の構築への不安や途中で学校が変わることに対して心配される方が多いのに対し、その他地域の方は、通学距離が遠くなってしまいうことから、通学面を心配される傾向が見られます。

<回答数>

区分	対象地域	その他地域
1 途中で学校が変わること	33	15
2 高学年・最終学年で学校が変わること（小5・6、中3）	22	12
3 経過措置を設けてほしい	23	9
4 令和6年度時点の新入学者から順に変更としてほしい（在学児童、生徒は旧学区のまま）	14	3
5 令和6年度2年生は前倒しで令和5年度入学時から実施してほしい	4	0
6 友達と別れ、新しい学校での人間関係の構築への不安、受け入れ側の子どもへの指導	36	21
7 兄弟姉妹で別々の学校に通学すること	19	8
8 学校指定品の買い替えの負担	17	0
9 児童クラブ、放課後子ども教室の変更	8	1
10 小学校の距離がかえって遠くなる	0	23
11 中学校の距離がかえって遠くなる	2	5
12 通学路の安全性	18	13
13 地域・家庭への説明	6	4
14 子ども会への影響	2	2
15 自治会への影響	3	2
16 その他	50	21
総回答数（複数回答可とするため、各区分の回答数の合計値とは一致しない）	120	68

<回答有の合計件数に対する各区分の割合>

区分	対象地域	その他地域
1 途中で学校が変わること	27.5%	22.1%
2 高学年・最終学年で学校が変わること（小5・6、中3）	18.3%	17.6%
3 経過措置を設けてほしい	19.2%	13.2%
4 令和6年度時点の新入学者から順に変更としてほしい（在学児童、生徒は旧学区のまま）	11.7%	4.4%
5 令和6年度2年生は前倒しで令和5年度入学時から実施してほしい	3.3%	0.0%
6 友達と別れ、新しい学校での人間関係の構築への不安、受け入れ側の子どもへの指導	30.0%	30.9%
7 兄弟姉妹で別々の学校に通学すること	15.8%	11.8%
8 学校指定品の買い替えの負担	14.2%	0.0%
9 児童クラブ、放課後子ども教室の変更	6.7%	1.5%
10 小学校の距離がかえって遠くなる	0.0%	33.8%
11 中学校の距離がかえって遠くなる	1.7%	7.4%
12 通学路の安全性	15.0%	19.1%
13 地域・家庭への説明	5.0%	5.9%
14 子ども会への影響	1.7%	2.9%
15 自治会への影響	2.5%	2.9%
16 その他	41.7%	30.9%
回答有の合計件数【参考】	120	68

※「16 その他」を除いた回答区分の内、一番回答割合の高い区分に赤着色しています。

## (6) 年齢別で見た状況

① 質問3を年齢別で集計した結果は次のとおりです。

0～年少：学区見直しを予定する令和6年度以降に小学校へ入学する学年

年中～4年生：途中で小学校が変更になる学年、中学校の入学先変更になる学年

5、6年生：途中で中学校が変更になる学年

学区見直しを予定している令和6年度以降に小学校へ入学する学年は、学校が途中で変わるということが無いいため、学区変更に対して肯定的な意見が多い傾向ですが、途中で小学校または中学校が変わる学年は、不安な面が残り、賛成できる面とできない面の両面の考えを持つ方が多い傾向が見られます。

### <回答数>

区分	0～年少	年中～4年生	5、6年生
1 対象地域への意見なし	27	69	26
2 賛成または問題なし	18	10	3
3 反対	4	8	0
4 一部賛成または一部反対	2	26	6
5 意見あり	3	12	4
6 その他（質問4にて）	0	4	1
合計	54	129	40

### <回答有の合計件数に対する各回答の割合（「1 対象地域への意見なし」は除く）>

区分	0～年少	年中～4年生	5、6年生
2 賛成または問題なし	66.7%	16.7%	21.4%
3 反対	14.8%	13.3%	0.0%
4 一部賛成または一部反対	7.4%	43.3%	42.9%
5 意見あり	11.1%	20.0%	28.6%
6 その他（質問4にて）	0.0%	6.7%	7.1%
回答有の合計件数【参考】	27	60	14

② 質問4を年齢別で集計した結果は次のとおりです。

未就学の学年の保護者は環境が変わることへの心配は少なく、通学路の安全面に不安を持たれている傾向が見られます。一方、途中で小学校または中学校が変わることになる学年の保護者は、環境への変化に対する不安を持たれている傾向が見られます。

<回答数>

区分	0～年少	年中～4年生	5、6年生
1 途中で学校が変わること	3	35	10
2 高学年・最終学年で学校が変わること（小5・6、中3）	1	27	6
3 経過措置を設けてほしい	2	25	5
4 令和6年度時点の新入学者から順に変更してほしい（在学児童、生徒は旧学区のまま）	0	11	6
5 令和6年度2年生は前倒しで令和5年度入学時から実施してほしい	0	4	0
6 友達と別れ、新しい学校での人間関係の構築への不安、受け入れ側の子どもへの指導	4	47	6
7 兄弟姉妹で別々の学校に通学すること	5	17	5
8 学校指定品の買い替えの負担	0	13	4
9 児童クラブ、放課後子ども教室の変更	3	6	0
10 小学校の距離がかえって遠くなる	7	14	2
11 中学校の距離がかえって遠くなる	0	5	2
12 通学路の安全性	11	18	2
13 地域・家庭への説明	2	8	0
14 子ども会への影響	0	4	0
15 自治会への影響	0	5	0
16 その他	18	50	3
総回答数（複数回答可とするため、各区分の回答数の合計値とは一致しない）	42	116	30

<回答有の合計件数に対する各区分の割合>

区分	0～年少	年中～4年生	5、6年生
1 途中で学校が変わること	7.1%	30.2%	33.3%
2 高学年・最終学年で学校が変わること（小5・6、中3）	2.4%	23.3%	20.0%
3 経過措置を設けてほしい	4.8%	21.6%	16.7%
4 令和6年度時点の新入学者から順に変更してほしい（在学児童、生徒は旧学区のまま）	0.0%	9.5%	20.0%
5 令和6年度2年生は前倒しで令和5年度入学時から実施してほしい	0.0%	3.4%	0.0%
6 友達と別れ、新しい学校での人間関係の構築への不安、受け入れ側の子どもへの指導	9.5%	40.5%	20.0%
7 兄弟姉妹で別々の学校に通学すること	11.9%	14.7%	16.7%
8 学校指定品の買い替えの負担	0.0%	11.2%	13.3%
9 児童クラブ、放課後子ども教室の変更	7.1%	5.2%	0.0%
10 小学校の距離がかえって遠くなる	16.7%	12.1%	6.7%
11 中学校の距離がかえって遠くなる	0.0%	4.3%	6.7%
12 通学路の安全性	26.2%	15.5%	6.7%
13 地域・家庭への説明	4.8%	6.9%	0.0%
14 子ども会への影響	0.0%	3.4%	0.0%
15 自治会への影響	0.0%	4.3%	0.0%
16 その他	42.9%	43.1%	10.0%
回答有の合計件数【参考】	42	116	30

※「16 その他」を除いた回答区分の内、一番回答割合の高い区分に赤着色しています。





## 南小学校区（日進中学校区）の学区見直し に関するアンケート

令和3年11月  
日進市教育委員会

市教育委員会では、別紙ご案内のとおり、南小学校（日進中学校）の学区見直しを予定しております。現在、日進市学区検討部会において、関係する学校・保護者・地域を代表する方から、学区見直しをする具体的な地域、変更時期、見直しに際しての課題等についてご意見をお聴きしております。

アンケートの目的は、今回いただいたご意見を参考に学区検討部会で検討するため、学区見直しが想定される地域にお住いの保護者の皆さまからご意見をお伺いするものです。何卒ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

なお、学区見直しの検討に際しては、以下の留意事項を踏まえて検討します。

- 1 南小学校区の将来的な児童数推計から、南小学校の教室数に余裕がない状況が長期間続く見込みであることから、できる限り早期に学区の見直しを行い、南小学校の適正化を図る必要があります。
- 2 新しい学区に変わるまでに、周知と学校の準備期間ため、二年度の期間を要します。従って、学区変更の時期は最短で令和6年度からとなります。
- 3 南小学校区に隣接する学校区のうち、梨の木小学校区の児童数が減少傾向であり、梨の木小学校の教室数に余裕があることから、変更先は梨の木小学校区とします。
- 4 南小学校の進学先である日進中学校の学区についても、梨の木小学校の進学先である日進東中学校に変更します。
- 5 見直しの対象となる地域は、変更先となる梨の木小学校及び日進東中学校の受け入れ規模、道路等の地理的状況並びにコミュニティ（自治会）境界等を考慮します。

アンケートは、あいち電子申請・届出システムで行いますので、学区見直しの内容をご確認いただき、下記のQRコードから回答をお願いします。

質問の内容は裏面をご覧ください。



回答期限：令和3年12月5日（日）

## アンケート質問内容

### Q 1 お住いの地域

- 東山一丁目    東山二丁目    東山三丁目    東山四丁目  
東山五丁目    東山六丁目    東山七丁目    栄三丁目  
折戸町寺脇    折戸町出屋敷    その他（            ）

### Q 2 お子様の現在の学年（年齢）

- 小学校6年生    小学校5年生    小学校4年生    小学校3年生  
小学校2年生    小学校1年生    年長    年中    年少  
2歳    1歳    0歳

### Q 3 学区見直し検討地区図の桃色のエリア（東山四丁目～七丁目、栄三丁目、藤枝町平子及び向イ田の一部）を対象として学区見直しを検討しておりますが、対象地域やその境界についてご意見があれば以下にご記入ください。

### Q 4 学区見直しに際して懸念されること、ご心配なことがありましたら以下にご記入ください。

# 南小学校区（日進中学校区）の学区見直しを検討しています

## はじめに

日進市では、児童生徒数の増加や35人学級の実施に伴い、各小中学校における施設の適正規模を検討したうえで、児童生徒が適切な学習環境のもとで教育が受けられるように、以下の地域を対象に学区見直しの検討をしております。

## なぜ学区の見直しが必要なのか

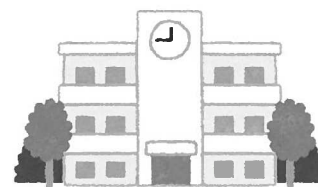
南小学校区の児童数の状況から、南小学校の教室数等に余裕が少ない状況が長期間続く見込みであるため、南小学校の学区の見直しにより学校規模の適正化を図る必要があります。

## 学区の見直し対象地域

南小学校区のうち、梨の木小学校に隣接する地区

（学区見直し検討地区図参照）

変更先：梨の木小学校区（日進東中学校区）



## 見直しの時期

南小学校の教室数等の状況から、令和6年度の実施に向けて検討しております。



## 今後のスケジュール

日進市教育委員会では、学区見直しの具体的な地域、変更時期、及び見直しに際しての課題等について検討するため、日進市学区検討部会を設置し、関係する、学校・地域・保護者の皆さまのご意見をお聴きしております。

令和4年3月までに、学区検討部会で検討内容を取りまとめ、日進市立小中学校適正規模等検討委員会に報告します。その後、教育委員会に提言する予定となります。

## 学区見直し関係者の皆さまへ

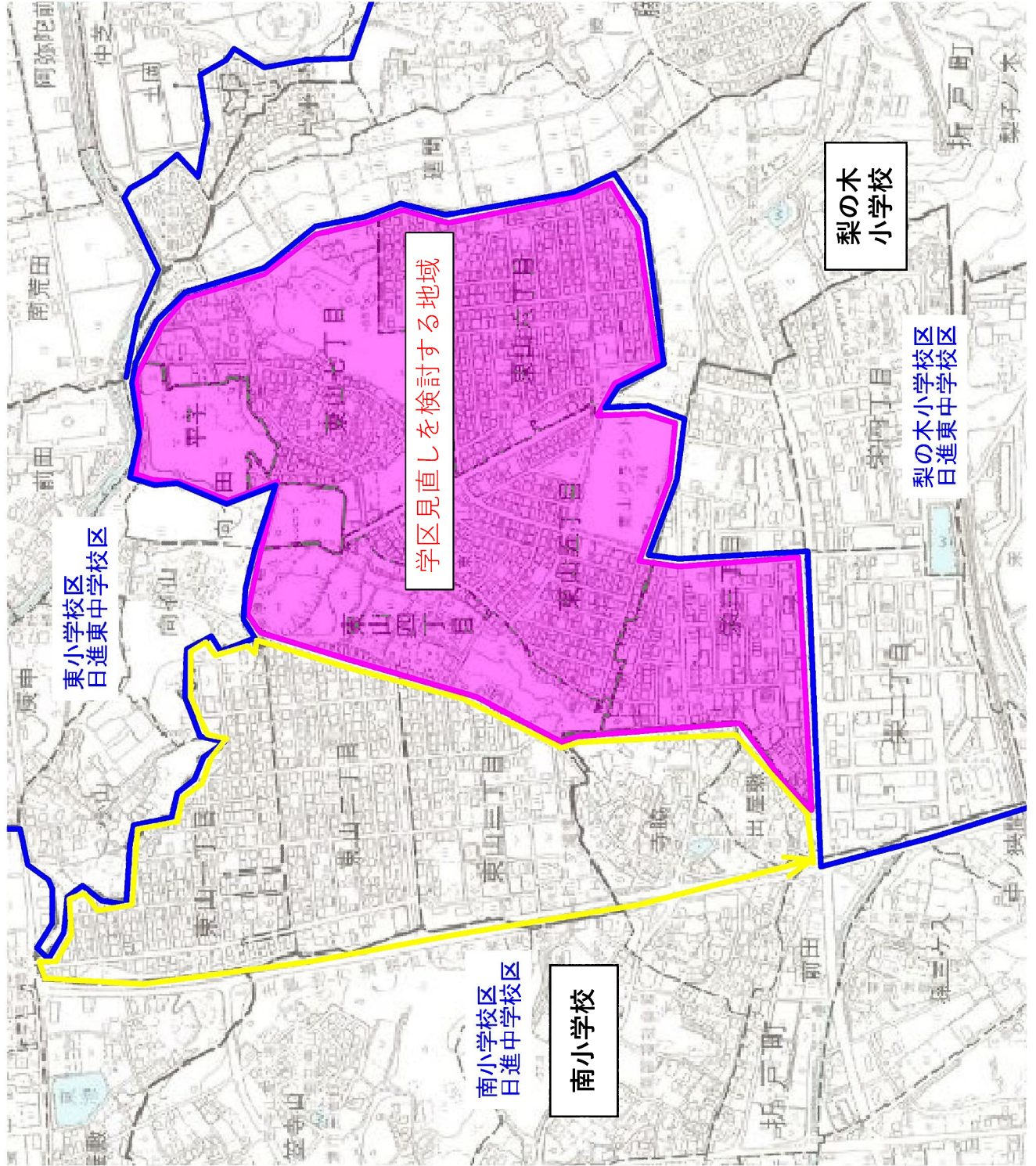
学区見直しの検討に際して、学区見直しが想定される地域の保護者の皆さまのご意見を参考にするため、別紙のとおりアンケートを実施します。

また、日進市ホームページに日進市学区検討部会で検討内容を掲載しておりますので参考にしてください。

👉 「日進市学区検討部会」で検索

担当：日進市教育委員会 学校教育課  
電話：0561-73-4145  
電子メール：gakkyo@city.nisshin.lg.jp

# 学区見直し検討地区図



**学区見直しを検討する地域**

- 東山四丁目～七丁目
- 栄三丁目
- 藤枝町平子の一部
- 藤枝町向イ田の一部



の地域は、検討の状況によっては学区見直しの対象となる可能性があります。

- 東山一丁目～三丁目
- 折戸町寺脇の一部
- 折戸町出屋敷